

公共施設の配置図と再編



早通コミュニティセンター	
早通連絡所	存続(早通児童センター屋上防水改修工事保証期間終期のR17年頃を目途に改めて検討)
いするぎ荘	
早通児童センター	存続(早通児童センター屋上防水改修工事保証期間終期のR17年頃を目途に改めて検討)
早通南小学校	存続(学校のあり方については、将来の児童・生徒数に応じて地域とともに検討)
早通中学校	
早通南ひまわり第1、第2	存続(学校のあり方に合わせる)
早通北保育園	存続(保育園配置計画による)
早通南保育園	
レインボーキッズ	

早通児童センターについては、屋上防水改修工事を実施し、屋上防水改修工事の保証期間である10年程度の継続利用が可能となりました。また、市の施設再編方針における「再編検討のきっかけ」は、施設の老朽化の他、利用者数、地域の既存市有施設等の再編のタイミングに合わせて検討することとなっています。

一方、コミュニティセンターは、利用率や人口減少に合わせ施設規模を検討する方針ですが、現在のコミセンの低い利用状況では「新築」の検討が難しく、再編にあたっては、施設の利用状況の改善を図る必要があります。

従いまして、早通地域実行計画の方針としては、児童センターが安全に使用できる期間は施設を使いながら老朽化による安全性やコミセン及び児童センターの利用状況を確認しつつ、屋上防水改修工事の保証期間が終わるころを目途に、ワークショップでの新築という整備手法の方向性も含め、改めて検討することとします。

また、施設規模に合わせた利用率の維持・向上などの経営改善を検討する必要があります。

※将来的に、施設の利用状況等を評価検討し、施設のあり方を改めて見直す場合があります